

踏切内でトラックが止まった場合の対応等について

～九州運輸局からのお知らせ～

平成 29 年 11 月 3 日、JR 九州肥薩線（坂本駅～葉木駅間）の踏切において、重機を積載した大型トラックが、トラックと重機の間で遮断桿が挟まってしまい、立ち往生しているうち列車と衝突し、13 名が負傷する踏切事故が発生しました。

会員事業者におかれましては、改めて下記のとおり、踏切事故防止に係る対応策の徹底をお願いいたします。

記

1. 踏切横断中に遮断桿が降りるなどしてトラックが踏切内に閉じ込められた場合、あわてずにトラックをそのまま前進させ踏切外へ退避して下さい。
2. トラックが故障等により踏切外へ退避できず踏切内で止まった場合、発煙筒による合図、もしくは、非常ボタンが設置されている場合は非常ボタンを押して列車を止める措置を執って下さい。**なお、非常ボタンは全ての踏切に設置されているわけではありません。**
3. 次の交通ルールその他、関係法令の遵守をお願いします。
 - ・横断先にスペースができるまで、踏切の手前で待つ。
 - ・踏切前で一旦停止し、左右の確認をする。
 - ・警報機が鳴り出したら踏切へ入らない。

以 上